

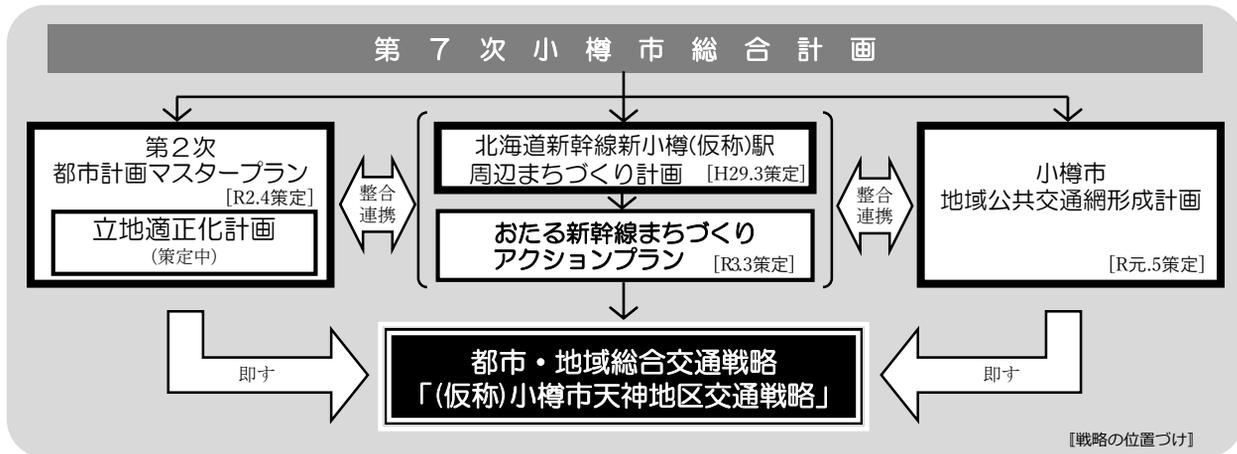
都市・地域総合交通戦略について

はじめに

小樽市では、新小樽(仮称)駅が担う交通結節点機能を最大限に活用し、新幹線を生かした魅力あるまちづくりを進めるために、新駅を中心とした周辺まちづくりに焦点を当てた「都市・地域総合交通戦略」の策定を進める。

都市・地域総合交通戦略策定趣旨

都市・地域総合交通戦略は、望ましい都市・地域の将来像を実現するために、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図り、もって魅力と活力あふれる都市・地域の整備を行うことを目的とする。
(国土交通省：都市・地域総合交通戦略要綱 要約)



交通戦略の策定

○策定の体制 (案)

【策定主体】 小樽市

【協議会】 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会 街並み・交通アクセス部会

○策定の内容

- 新幹線開業後の望ましい**将来都市像の設定**とそれを具体化する**交通戦略目標の設定**
 < ▶ 将来像と何もしない場合に想定される姿のギャップを埋める手段 >
- 施策パッケージの構築
 < ▶ 交通ネットワークと多様な交通モードの**連携が図られた交通施策**を定める >
 < ▶ ハード施策とソフト施策が**一体となった効率的・重点的施策**の展開 >
- 実施プログラムの策定 < ▶ スケジュール、実施主体、役割分担 >
- 施策の進捗を評価・検証する**指標の設定** < ▶ KPI : ex.歩行者数等 >

◆ 策定の期間：令和7年度からの施策の実施(事業実施)に向け、令和4～5年度の2か年で策定

	令和4年度		令和5年度			
協議会		第1回	第1回	第2回	第3回	第4回
策定作業	現状分析,課題整理,将来像,ネットワーク,等		パッケージ,プログラム,指標,とりまとめ,等			

策定後

施策の実施

- 実施プログラムに基づく施策の実施
 ・ 新駅周辺駐車場等整備事業 …【市】

《令和7～11年度》

開業後5年

施策の進捗と効果の把握・評価

- 施策の進捗と効果の発現の確認
- 数値目標との比較による検証・評価

《指標の把握》
《開業後5年》

開業後5～10年

交通戦略の見直し

- 課題の整理と新たな戦略への展開

《開業5年～10年後》